



沖縄県立

# 看護大学広報誌

『かせかけ』第9号



図書館は平成18年4月から土曜日、日曜日も開館しています。

## 年間スケジュール

|                  |                   |
|------------------|-------------------|
| ◆入学式             | 4月5日(水)           |
| ◆開学記念日           | 5月15日(月)          |
| ◆第8回看護大祭         | 6月3日(土)～6月4日(日)   |
| ◆オープンキャンパス       | 8月5日(土)           |
| ◆海外研修セミナーハワイ2006 | 8月27日(月)～9月14日(月) |
| ◆連続公開講座          | 9月～11月            |
| ◆大学院入試           | 9月16日(土)          |
| ◆学部入試(特別選抜)      | 11月18日(土)         |
| ◆卒業論文発表会(4年次)    | 12月16日(土)         |
| ◆学部入試(一般選抜)前期    | 2月25日(日)          |
| ◆卒業式             | 3月10日(土)          |
| ◆学部入試(一般選抜)後期    | 3月12日(火)          |



### 学章について

人間が人間を支えていく人材を世に送り出す看護大学としてのイメージをNURSING(看護)の英文字頭文字のNの文字によって人体をデザイン化し、シンボライズしました。

編集：沖縄県立看護大学 広報・情報委員会  
発行：平成18年8月31日



# 本大学の優先順位について

沖縄県立看護大学 学長 上田 礼子



日本のみならず世界中の大学は21世紀の高等教育の改革に取り組んでおり、本大学もこのような時代の潮流の中にあります。大波に飲み込まれて沈没することなく上手にのりこえ「知の創造」に貢献したいものです。そのために私は本年4月の教職員会議において、本大学における今年度の最優先すべき課題として以下の3事項をあげて述べました。

すなわち、1) 独立行政法人大学評価・学位授与機構による第3者評価をうけること、2) 20年度の法人化にむけた準備、3) 本年11月9～10日本学において開催される第71回日本民族衛生学会総会にむけた活動であります。これらはいずれも本大学にとっては新しい試み、試練であります。大学の教育研究活動が社会的に認知され、今後の発展に向け避けて通ることができない事項であります。

まず、第1位の第3者評価は各大学が7年に1回受けることが義務づけられています。大学自らが実施する自己点検評価を第3者によって評価を受けることです。すでに、6月30日までに「自己評価書」を全学的取組によって作成し、学位授与機構に提出しました。12月4～6日には評価者による大学への訪問調査が予定されています。大学の構成員はこの機会がその足跡と日頃の教育研究活動を点検し、「優れている点」と「改善を要する点」を確認し、将来への展望を大学全体として明確化し、共有するのに役立つと確信しています。

次に、法人化問題は自己点検評価をふまえて大学の設置主体である県当局が本格的取組を開始しており、今後教職員は県職員の身分をはなれ、大学独自の組織改革体制の中に再構成される劇的改革に着手しています。

さらに、秋に開催される第71回日本民族衛生学会総会は全国的学会であり、県内外からの参加者が本学に集参しますが、海外講師の特別講演、教育講演も予定されています。教員・院生・学生は優れた教育・研究活動の一端に直接参加できる絶好の機会となるでしょう。離島から本土や外国の学会活動に参加するには経済的負担も大きいので、是非このような機会を利用して学術的活動に対する視野を広げ、学識を深めるよう期待しています。

これらの大きな課題をなしとげることによってのみ、大学は自己改革・刷新をはかり自信を獲得していくものと私は思っています。

## 図書館利用について

附属図書館は、学生、教員の学習・教育・学術研究を支援することを目的に看護、保健、医療関係資料の充実に努めております。県内では同資料が最も充実している図書館として、看護、保健、医療関係者や看護系専門学校の学生等、一般の利用者にも多く利用されています。

### 開館時間

平日（月曜日～金曜日） 9:00～21:00  
土、日曜日 11:00～19:00  
長期休業期間（夏季休業等） 9:00～17:00

### 館内利用サービス

1. 図書、学術雑誌、ビデオ等の閲覧及び資料のコピー
2. 図書館の利用相談や文献、学術情報を探すためのお手伝いをするレファレンス

### 館外利用サービス

1. 図書の貸し出し：2冊、2週間以内  
\* 図書を借りる場合は、学外登録のため、身分証明書（運転免許証等）が必要です。
2. 図書貸出の予約：貸出中の図書を次に借りたい場合は、貸出の予約ができます。  
\* 電話による予約も可能です。
3. 貸出期間の延長：借りている図書に対する貸出の予約がなくて、利用期間を過ぎていない場合は、貸出期間を2週間延長することができます。  
\* 電話による延長も可能です。
4. 貸出資料の返却：\* ゆうパック、簡易書留、宅配業者を利用した返却も可能です。

開館日の確認等、図書館の利用案内や蔵書の検索等は、図書館のホームページ（URL:<http://okinawa-nurs.ac.jp/lib/libindex.html>）からも利用できます。





## 新管理者の抱負

事務局長 有銘 政勇

4月に、福祉保健部の福祉担当の統括監から事務局長として異動してきました、教職員のみなさん宜しく願います。長い県庁生活のなかで本庁以外の職場は初めてですが、最近、そのごんまりとしたアットホーム的な雰囲気がとても気に入っています。

また、学生のみなさんは、たくさんの知識を学び、専門職者としての仕事を指すわけですが、看護技術は、日進月歩で進んでおり、常に最先端の情報を得て行く必要があります。

ところで、私は、少しばかり囲碁を打ちますが、「手筋」というコツがあり、対局において同じ石の形であっても一手毎の打つ順序があり、後先で結果は天と地の差になります。

看護技術の習得においても、「手筋」の考え方は通用すると思います。是非とも基礎を大切に、きちんと身につけさらに応用・実践にと発展させてください。

数年後には、本学も公立大学法人に移行する予定になっており、教職員はじめ関係者の英知を結集し素晴らしい県立看護大学の歴史を刻んで行こうではありませんか。



## 新管理者の抱負

学生部長 嘉手苺 英子

予想もしていなかった学生部長を拝命することになり、職責を果たすことへの不安の中で出発しましたが、いろいろな方に助けていただきながら3か月が過ぎました。7年前に、それまで勤務していた総合大学から新設の本学に就任して一番感じたのが、学生と教職員が互いに顔の見える教育環境のよさでした。その後、学年進行や研究科の設置に伴い大学で学ぶ学生・院生の数は増えましたが、この特徴は変わっていません。小さな大学ならではのこのような特徴を生かして、

個を大切にしたいきめの細かな教育ができる環境づくりをしたいと思っています。

看護職を取り巻く状況は、社会の急速な変化を受けて大きく変わりつつあります。学生たちが「我は何をなすべき人か」と自問しつつ主体的に学び、人々の健康の支え手としてこれからの社会に貢献できる看護職者として成長するよう、学生部長として、また一教員として努力していきたいと思っています。



## 新管理者の抱負

附属図書館長 前田 和子

沖縄県立看護大学附属図書館へ入館されたことがありますか？本学の図書館は看護・保健医療関係の図書と資料を中心に、現在46,000冊以上の蔵書と、和雑誌160、洋雑誌101タイトルを揃えています。本学の学生の利用はもちろんのことですが、いまや大学の大きな役割の一つである社会貢献・地域貢献として、学外の保健医療従事者や看護専門学校生をはじめ、一般の人々にも広く開放しています。平日だけでなく、原則として土日の休日にも開館しています。昨年度は少なくとも約4千人の学外者に利用していただきました。図書館業務は看護師と似て、個人サービス業務でもあります。

図書館員数は少ないですが、皆さんの学習のお手伝いすることを喜びとしていますので、どうぞ情報検索などいろいろ相談をして下さい。今年度は博士課程ができて3年目を迎えました。質の高い学術図書館としてさらに充実を図っていきたくと思っていますので、遠慮無くご意見をお寄せ下さい。





全国の看護系大学も既に148校を数え、各県平均すると3校以上になりました。  
 今や大学が学生を選ぶ時代から学生に選ばれる大学を目指して競い合う時代に突入し、各大学にも厳しい自己点検評価と第三者評価による質の向上が義務づけられています。現在、本大学も大学評価・学位授与機構の認証評価を受けている最中です。この認証評価の結果は学外にも公表され（大学のホームページに掲載予定）、大学の現状と特徴、特に優れた点、改善すべき点などが明示されています。

今後、さらに地域特性を踏まえた県立大学としてのスクールカラーを鮮明に打ち出し、大学の独自性を積極的にアピールしていくためにも、「広報・情報委員会」の機能の充実をはかる必要性を痛感しております。この大学広報誌「かせかけ」も単に学術情報の発信に止まらず、大学に対する社会の期待、要望・意見なども反映される「情報交換誌」のような役割が果たせたらと願っております。

## 大学院博士課程 1 期生修了

### 大学院博士前期課程修了生への期待

保健看護学研究科(母子保健看護)教授  
前田 和子

平成16年度に大学院が開設され、今年（H18年）3月に博士前期課程の第1期生4名が修士号の学位を取得し、修了していきました。いずれも働きながらの大学院生活でした。本学大学院、特に博士前期（修士）課程の設立目的はとてもユニークです。この課程には、将来教育・研究者を目指して、博士後期課程（博士課程）まで視野に入れ入学する院生と、実践家であることを大切に、現場での課題を解決する方法や能力を身につける目的で入学する院生がいます。全国に看護系大学が148校でき、その6割に修士課程がある時代となり、看護系の大学教員が絶対的に不足しています。また、国民の権利意識が向上し、医療がより高度専門化し、人々の医療に対するニーズが多様化した今、現場で働く看護職者の質の向上も急務です。今年度修了生の4名中1名は博士後期課程に進学し、3名が現場に戻りました。それぞれの持ち場で新しい取り組みに挑戦してくれることを期待しています。

### 大学院博士前期課程を修了して

大学院博士後期課程  
宮澤 純子

—新しいことを学びたい—これが私の大学院入学の動機です。大学で知識として学んだことの中には時間が経つにつれ古くなってしまっているものがあります。一方、社会に出て行う実際の看護（実務）では机上の学習では得られない多くを学びましたが、次第に実務だけでは学べない何かがあると感じるようになっていました。

前期課程の2年間、自宅のある千葉から遠距離通学しました。私は、飛行機と沖縄の食事が大好きで往復30回を超えた今も飽きることはありません。

大学院での学びをひとことで言うとSynthesis(統合)するという。インターネットの普及は新しい情報を次々と与えてくれるようになりましたが、いろいろ調べて現状を分析することはできても、それをひとつの新しいかたちにまとめるプロセスは知らなかったのです。理論を学ぶこと、研究を論文にまとめることを通して統合する方法を学びました。この4月から博士後期課程に進学し、今は再びスタート地点に立ったような気持ちでいます。



## 進学・就職状況

去る3月に卒業した4期生80人を含め、本学の卒業生は総計310人となった。毎年、数人の進学者を除いた就職者の約8～9割が看護師または助産師として病院等に、残りの約1～2割が保健師または養護教諭として市町村や学校に就職している。県内への就職者は3期生までは約6割で、4期生は5割強となっている。その一方、県外に就職していた1, 2期生が昨年位から県内に戻り始めている。進路先は本学大学院を含めた県内外の大学院の他、助産師学校、助産専攻科などである。研究科前期課程の1期修了生4人のうち、14条適用の在職者3人を除いた1人は後期課程に進学している。

平成17年度進路対策委員会委員長：嘉手苺 英子

## 国家試験結果

17年度国家試験は平成18年2月23日（木曜日）助産師、2月24日（金曜日）保健師、2月26日（日曜日）看護師の日程でそれぞれ行われました。

### ● 国家試験結果

| 免許  | 平成17年度卒業生 |     |        |      |
|-----|-----------|-----|--------|------|
|     | 人数(人)     |     | 合格率(%) |      |
|     | 受験者       | 合格者 | 本学     | 全国   |
| 看護師 | 78        | 76  | 97.4   | 88.3 |
| 保健師 | 79        | 65  | 82.3   | 78.7 |
| 助産師 | 5         | 5   | 100    | 98.1 |

平成17年度国家試験対策委員会委員長：安谷屋 均

## 実習連絡調整会議

実習小委員会委員長  
石川 りみ子

実習の開始にあたり、4月26日午後2時から、全実習施設の実習指導責任者をお招きして実習連絡調整会議が本学大講義室で開催された。参加施設は42施設56人の参加であった。

まず初めに、学長から、本学の教育目標の説明と実習施設への協力依頼があり、その後各担当者から本学の全体的な実習計画の説明がなされた。引き続き、今年度卒業生の国家試験合格状況及び、進路就職状況の報告がなされ、実習施設に対し看護教育協力への謝意が述べられた。

その後関連施設ごとに分かれた分科会では、実習指導教員と施設の実習指導責任者との、前年度実習の振り返りと今年度実習の意見交換が活発に行われ、情報の共有化がされた。



## 「県内の医療機関 職員採用説明会」開催

進路対策委員会委員長  
大湾 明美

本学には、進路指導の円滑な実施を目的とした進路対策委員会があります。活動内容として、進路情報の収集や提供、就職ガイダンス、個別の進路指導等を行っています。大きなイベントの一つとして、「県内の医療機関職員採用説明会」を毎年3年次、4年次を対象に本学で開催しています。そのねらいは、学生が、県内医療機関の情報を広く把握することにより、個々の学生の将来ビジョンにあったキャリアアップ可能な職場を選択する機会とすることです。また、医療機関に看護職確保の機会をつくることにより、公立大学としての地域貢献の機能を果たすことでもあります。

平成18年5月19日に開催され、21ヶ所の医療機関が、自己の医療機関の理念や特徴、看護教育体制等を学生に熱く語りかけていました。

卒業生のほとんどは、医療機関で社会人としての第一歩を踏みます。学生と医療機関双方のニーズが合致し、よりよりスタートができることを願っています。

## 「学士・修士課程における 看護学生の到達目標としての コンピテンシー」

### “科学研究費補助金 (基盤研究C)による研究”

本学前教授 吉川 千恵子

本研究は、本学ビバリー・ヘンリー教授を中心としたFDプロジェクトによる国内外の文献検討から出発し、「学士・修士課程の卒業時における到達目標」を明確化しました(学内機関誌シンセサイザー第2号に発表)。

その後、これを基礎に「学士・修士課程における看護学生の到達目標としてのコンピテンシー」をテーマに、平成15年度～17年度の3年間、参加型アクションリサーチを行いました。研究への参加者は、学際的ラーニング・コミュニティ形成を意図し沖縄県の保健医療現場の医師、看護職者、看護教育機関の教員、看護行政管理者、看護職能団体の長、本学教員など75名でした。

看護現場と看護教育の両者が学士及び修士課程の教育に活用して頂ければ幸いです。



# オープンキャンパスを終えて

第7回オープンキャンパス実行委員長 金城 忍

平成18年8月5日、多くの教職員や学生ご協力の下、第7回オープンキャンパスが開催されました。メニューは「個別進学相談」、「各種体験コーナー」、「インターネット体験教室」、「ミニ講義」、「在大学生とのフリートーク」、「大学院生コーナー」、「キャンパスツアー」と数多くの内容で行われました。来校者は高校生が209人、予備校生が10人、そして父母・一般の方が23人の合計242人で、昨年度の来校者を上回る数でした。

個別進学相談の方には多くの相談者が訪れていました。相談内容は、受験に関する事、大学生活について、授業内容について、取得できる資格について、そして国家試験や卒業後の就職状況についてと、入学前から卒業後に関する事でした。つまり相談を必要とする来校者は入学が目的ではなくて、本大学で学ぶ内容や卒業後の活動を視野に入れた上で本大学を選択している、という姿勢を持った者たちであるといえるでしょう。来校者からのアンケート（自由記載）にも「先生から色々とお話を聞いて良かったので良かった。入学したいという気持ちが今までより強くなりました」とか「フリートークであらゆることが分かって本当に良かった。入りたい気持ちが強くなったので、頑張りたい」という記述がみられたことから、卒業後の活動を思い描きながら入学したい気持ちを強くしたと思います。

各種体験コーナーでは宮城先生や永瀆先生を中心に8人の学生による劇が催されたり、池田先生を中心に大学院生の活動を紹介した大学院生コーナーが開かれました。また宮城先生、渡久山先生、永瀆先生によるミニ講義も開かれました。これまでミニ講義は、1人の先生がオープンキャンパス開催時間中に何回かの講義を行っていました。また個別進学相談も3人から4人の先生方が進学相談を行っていました。今年度は教務委員長のキシ先生を始め、他の委員の先生方からのアドバイスで、ミニ講義を複数の先生に頼んでみることにし、個別進学相談室の担当を教務委員メンバー全員が担当することになりました。そこで実行委員長が調整したのですが、調整の際に先生方へ今年度の趣旨を説明し役割を依頼したところ、全ての先生方は快く引き受けてくださり、調整するというよりも報告を行ったという感じで事が進んでいきました。

その他特記すべき事として、今回のオープンキャンパス開催にあたって、学生会を中心とした在大学生の協力が大きかったことです。各種体験コーナーや在大学生とのフリートークで、のべ84人の学生の協力が得られました。学生会を中心としたフリートークのコーナーでは例年のように多くの来校者が見られ、在大学生たちも大学生活について一生懸命に説明していて、さらに来校者たちの笑顔も多く見受けられました。アンケート（自由記載）にも、「在校生とのフリートークがおもしろかった。大学のこととか色々聞いて良かった」というように、フリートークが好評であった記述が多く見られました。キャンパスツアーでは、1時間毎にいくつかのグループに分けてツアーを行っていました。初めのツアーでは50人ほどの来校者が参加していたため、ツアー担当の学生は急遽応援を頼んだりしていました。このような動きは実行委員長の私が指示したのではなく、学生たちが自ら考えて行っていたことを書き記しておきます。

最後に実行委員長として、今回オープンキャンパスを開催するに当たってマンパワーの大きさを実感しました。御協力を抱いた教員、事務職員、学生に本紙面を借りて深く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。





## 『命への奉仕を担う諸君へ』

「年々歳々花相似」「年々歳々人不同」、永遠の自然に対して人の世の諸行無常を唱えた高僧の句として心にしみる言葉である。人間誰しも己の生涯への願いは尽きず、生命への祈りは絶えぬまま百人一様すべて人生は未完に終わるところに美を感じ花を見る思いがする。無限を感じ無を悟るのもよし。進学・就職は第一次産業革命の所謂、胃袋産業時代、壮年期（働き盛り）は第二次産業革命の高度経済成長時代の懐産業時代、そして、老年は生きがい（福祉）の第三次産業革命の時代。看護大学の生徒さんはこの医療・福祉へ貢献をするという崇高な使命をもって、これらの勉学・就職が円滑に達成できるように祈ります。社会に巣立つ時に参考までに。「歳を重ねるだけで人生を終えるのではなく、人それぞれに思いの深さがあり、生きがいをもって生活をしていることを思えば、医療福祉がいかによばらしいものであるかを感じ取って頂ければ幸いです。」また、「現在の時も、過去の時も、未来の時の中に存在し、そして、未来の時は過去の時の中にある。時の流れは永遠でありすべての時はとりもどすことができない。」この言葉は全国日本学士会会長の西島安則先生（元京都大学総長）の言葉である。含蓄のある言葉として参考にして現在を頑張ってください。



後援会会長  
川満 一彦

## 学生生活について

つらく、苦しい受験生活を終えて、晴れて希望としていた看護大に入学を許可された4月。私はこの大学での生活に大きな希望と期待、不安なども含めて色々胸を膨らませて入学式に出席しました。入学して最初の行事である新入生歓迎球技大会では、入学してまだ3日しかたっていないだったので、楽しめるか不安であり、最初はやはりぎこちなく進んでいましたが最後には先輩達とも仲良くなり、一年生同士とも仲良くなっていたのですぐにこの大学生活に楽しさを感じました。また最近行われた看大祭で私達学年はより一層仲が深まったと思います。講義にいたっては、やはり看護大ということもあって専門的講義が多く覚えることがたくさんあり、不安な部分もありますが、みんなで励ましあい勉強していきたいと思っています。まだ3ヶ月しかたっていませんが大学生活の全てが新鮮であり、今は一日一日を楽しく過ごしています。これからもみんなと楽しく、時には厳しく大学生活をエンジョイしていきたいと思っています。

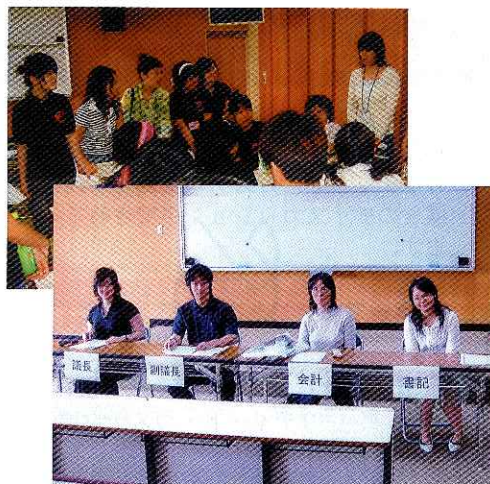


1年次  
古堅 梢

## 看護大学祭で「同窓会」と「卒業生と在校生との交流会」

沖縄県立看護大学同窓会は、「会員相互の親睦を図り沖縄県立看護大学の発展を図ると共に、沖縄諸文化の昂揚発展に貢献すること」を目的に、平成15年3月に第1期卒業生達が誕生させました。その総会が、看護大学祭（平成18年6月3日）にあわせて開催されました。学長による同窓会への激励と期待のあいさつの後、会則の変更などの審議がありました。発足して歴史の浅い同窓会であり、初期の目的が達成できるよう大学教職員も協力します。

同窓会の機会を捉え、卒業生と在校生が交流しました。先輩達は、現在の仕事内容紹介、進路決定のしかた、採用試験対策、国家試験対策などのアドバイスを後輩に伝授していました。在校生は、進路を考える情報として身を乗り出し真剣に聞き入っていました。



**編集後記** 2006年、かせかけ第9号は、誌面のレイアウト等を変更してお届けします。広報誌「かせかけ」に関するご意見・ご要望等ございましたら、最寄りの広報・情報委員までお寄せ下さい。（広報・情報委員会）



# お知らせ

## 平成19年度 大学院生募集 保健看護学研究科【博士前期課程・博士後期課程】 ◎就業しながらの学習が可能です。

■出願期間：平成18年8月18日(金)～  
9月1日(金)【必着】

■試験内容：①英語  
②専門科目(共通)  
③専門科目(専門領域)  
④面接

■試験日：平成18年9月16日(土)  
9時30分から

■試験会場：沖縄県立看護大学内

■合格発表：平成18年9月22日(金)

### ◆◆◆◆ 分野・領域及び募集人員 ◆◆◆◆

| 分野       | 領域(専門科目)                   | 募集人員       |
|----------|----------------------------|------------|
| 文化間保健看護  | 保健看護管理(保健看護管理)             | 前期課程<br>6名 |
|          | 地域保健看護(地域保健看護)<br>(精神保健看護) |            |
| 生涯発達保健看護 | 母子保健看護(母子保健看護)             | 後期課程<br>2名 |
|          | 成人・老年保健看護(成人・老年保健看護)       |            |
| 先端保健看護   | 新領域保健看護(新領域保健看護)           |            |

●大学院生募集要項の請求は沖縄県立看護大学まで(※沖縄県立看護大学ホームページからも請求できます。)

## 連続公開講座

本学の連続公開講座も今年で6年目を迎えることとなりました。今年度は1人の講師が連続して担当する形で、4講座を下記日程で開催いたします。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

|           | 講師    | タイトル               | 対象                          | 開催間隔・回数    | 開催日  | 時間          |
|-----------|-------|--------------------|-----------------------------|------------|--|-------------|
| 一般向け      | 渡久山朝裕 | カウンセリング初級          | 一般(約30人)                    | 週1回<br>全5回 | 10月16日(月)・23日(月)・30日(月)<br>11月6日(月)・13日(月)       | 19:00～20:30 |
|           | 牧内 忍  | 生活習慣病と健康日本21       | 40才以上                       | 週1回<br>全3回 | 9月5日(火)・12日(火)・26日(火)                            | 18:30～20:00 |
| 医療保健専門職向け | 大湾明美  | 実践力アップのためのケアマネジメント | 介護保険制度のケアマネジメントに関わるケアマネージャー | 月2回<br>全5回 | 9月20日(水)<br>10月11日(水)・25日(水)<br>11月15日(水)・29日(水) | 18:30～20:00 |
|           | 池田明子  | 看護におけるコンサルテーション機能  | 看護管理者(10～15人)               | 月2回<br>全4回 | 10月7日(土)・14日(土)・28日(土)<br>11月4日(土)               | 10:00～12:00 |

### ■申込締切

「生活習慣病と健康日本21」…8月29日(火)  
「実践力アップのためのケアマネジメント」…9月13日(水)  
「看護におけるコンサルテーション」…10月2日(月)  
「カウンセリング初級」…10月10日(火)

### ■受講料

各講座共2,500円 第1回目受付の際にお支払いください。

### ■問い合わせ・申込先

沖縄県立看護大学 TEL:098-833-8800(学務課/下地)  
<http://www.okinawa-nurs.ac.jp>

## 第10回ナーシングリーダーシップ会議

今年度のナーシングリーダーシップ会議は、文化と精神保健の研究に長年取り組んでこられた、文化人類学者のリチャード・カステロ博士をお迎えします。参加の皆様とのディスカッションができることを楽しみにしています。

■テーマ：メンタルヘルスと文化  
クライアント中心のアセスメントモデル

■講師：ハワイ大学西オアフ校心理学教授  
リチャード・カステロ博士

■日時：11月11日(土) 午後2時～4時

■場所：本学大講義室

## 第71回 日本民族衛生学会

1. 第71回日本民族衛生学会総会  
(学会長 上田礼子 沖縄県立看護大学長)

■平成18年11月9日(木) 10日(金)

■場所：沖縄県立看護大学

本学会は人の健康を文化的視点から広くとらえることを特徴にしています。  
京都大学正高信男教授、ハワイ大学Castillo教授などの講演や学会発表が多数あります。

2. 参加型市民健康フォーラム

平成18年11月11日(土) 午前10時～12時

場所：沖縄県女性総合センター「ていりる」

※いずれもお問い合わせは、沖縄県立看護大学  
前田(tel098-833-8825)・大湾(098-833-8888)

沖縄県立看護大学

〒902-0076 沖縄県那覇市与儀1丁目24番1号

TEL (098)833-8800(代表) FAX (098)833-5133(代表) <http://www.okinawa-nurs.ac.jp>

※注) 本学は駐車場が利用できないため、公共交通機関をご利用ください。